

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：4月ユーロ圏PMI指数(速報)

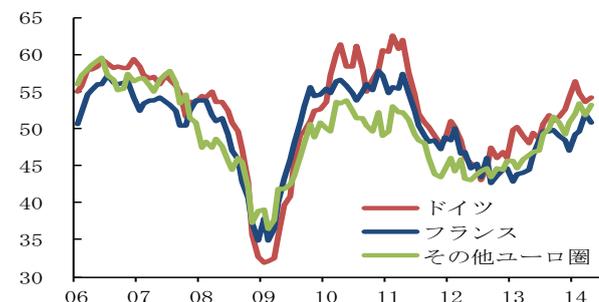
発表日：2014年4月23日(水)

～ユーロ高もへっちゃらさ～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

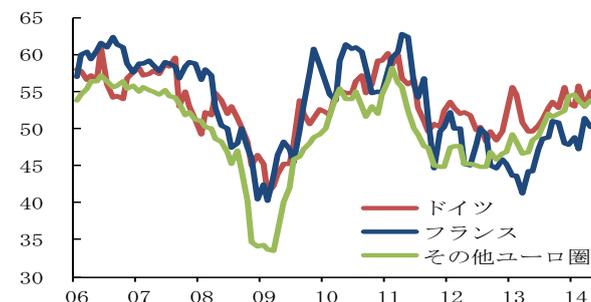
- 4月のユーロ圏のPMI総合指数(速報値)は2ヶ月振りに改善モメンタムが加速し、2月に記録した直近ピークを更新した。前月はドイツの業況頭打ちで改善が鈍化したが、製造業が直近ピークに近い水準を維持し、サービス業は直近ピークを更新。国別・業種別には、ドイツで製造業とサービス業が揃って再加速した一方、フランスで製造業とサービス業がいずれも鈍化し、前月と間逆の動きとなった。その他ユーロ圏は製造業・サービス業ともに50超を維持し、改善モメンタムが最加速した模様。
- 発表元のMarkitによれば、同指数の水準からは4-6月期のユーロ圏の実質GDP成長率が前期比+0.5%程度のペースで始まった可能性が示唆される(1-3月期は同+0.4%程度になったことが示唆)。ウクライナ情勢の緊張継続、ユーロ高基調、中国景気の減速懸念などの逆風が吹いており、欧州にはデフレ懸念すら浮上しているが、米欧景気の底入れに支えられ、企業の業況は全般に上向いている。
- 中国景気の減速懸念やウクライナ情勢の緊迫化を受け、前月に業況判断が鈍化したドイツは再び改善モメンタムが加速した。製造業が3ヶ月振りに、サービス業が2ヶ月振りに上昇し、総合指数では2月に記録した直近ピークに迫る好調さを維持している。このところ政府関係者やECB高官からユーロ高を牽制する発言が数多く聞かれるが、少なくともドイツ企業の業況判断はびくともしない印象。
- 他方、前月に出来すぎの感があったフランスの業況が総じて鈍化した。企業の社会保障負担軽減や改革派の新首相就任など、政策期待によるフォローの風が一服したことが影響した模様。ただ、製造業・サービス業ともに50超を辛うじて維持し、フランス企業の業況は全般に底打ちしたとみられる。

■ユーロ圏：PMI製造業指数



出所：Markit

■ユーロ圏：PMIサービス業指数



出所：Markit

■PMI指数(季節調整済み)

	2013				2014							
	2Q	3Q	4Q	1Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ユーロ圏 総合産出指数	47.8	51.4	51.9	53.1	52.2	51.9	51.7	52.1	52.9	53.3	53.1	54.0
ユーロ圏 製造業PMI指数	47.9	50.9	51.9	53.4	51.1	51.3	51.6	52.7	54.0	53.2	53.0	53.3
ユーロ圏 サービス業業況指数	47.5	50.9	51.3	52.1	52.2	51.6	51.2	51.0	51.6	52.6	52.2	53.1
ドイツ 総合産出指数	49.9	52.9	54.5	55.4	53.2	53.2	55.4	55.0	55.5	56.4	54.3	56.3
ドイツ 製造業PMI指数	48.7	51.2	52.9	55.0	51.1	51.7	52.7	54.3	56.5	54.8	53.7	54.2
ドイツ サービス業業況指数	49.9	52.6	54.0	54.0	53.7	52.9	55.7	53.5	53.1	55.9	53.0	55.0
フランス 総合産出指数	45.4	49.5	48.6	49.5	50.5	50.5	48.0	47.3	48.9	47.9	51.8	50.5
フランス 製造業PMI指数	46.4	49.7	48.2	50.4	49.8	49.1	48.4	47.0	49.3	49.7	52.1	50.9
フランス サービス業業況指数	45.3	49.5	48.9	49.2	51.0	50.9	48.0	47.8	48.9	47.2	51.5	50.3

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。